

シンポジウム・ワークショップ

日本社会の 持続可能な開発目標

— 長崎の課題から学ぶ —



2015年9月の国連総会にて、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) が正式に採択されました。その達成には、国際レベルのSDGsに基づく、国内レベルでの目標設定が必要とされています。

POST2015 プロジェクトについては、
<http://www.post2015.jp/> をご参照ください。

2015年 **11**月 **5**日(木)

申込不要
参加費無料

15:00 - 18:30 (14:30開場)

会場：長崎歴史文化博物館 ホール
(長崎市立山1-1-1)

<http://www.nmhc.jp/access.html>



登壇者 (予定)

- 蟹江 憲史 (慶應義塾大学)
- 崎田 裕子 (NPO 法人 持続可能な社会をつくる 元気ネット)
- 川良 真里 (フリーランス編集者)
- 高山 義浩 (沖縄県立中部病院)
- 田中 丈夫 (東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会)

プログラム (予定)

- 14:30 開場・受付
- 15:00 第1部 POST2015 への提案
- 第2部 地域から考えるワークショップ
- 18:30 閉会

※当日長崎歴史文化博物館の常設展見学は割引額が適用されます。

主催：環境省環境研究総合推進費(S-11)
「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究(POST2015)」

共催：日本公衆衛生学会、環境省、長崎大学、
SDSN(持続可能な開発ソリューション・ネットワーク) Japan

問い合わせ先：長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野(江越) yas-egoshi@nagasaki-u.ac.jp

本シンポジウムは、環境省環境研究総合推進費戦略課題 S-11「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究—地球の限られた資源と環境容量に基づくポスト2015年開発・成長目標の制定と実現へ向けて—」(2013～2015年度)の国民との科学・技術対話シンポジウムとして実施します。